

自然薯掘り

大変だった、じねんじよほり

五年

五年生になり、初めてじねんじよほりをしました。実際にほってみて、とても大変な作業だということが分かりました。パイプの中には、土だけでなく、とても大きなじねんじよが入っていました。六年生や・さんが大切に育ててくれたおかげです。ぼくは、とてもうれしくなりました。とろろご飯の会では、たくさんとれたじねんじよを六年生が調理し、五年生が米の準備をしました。全校のみなどで、おいしく食べました。



【大豊作！ときなんの自然薯】



【自然薯掘りの説明を聞く子どもたち】

豊作だったじねんじよ

六年

今年のじねんじよは豊作かもしれないと聞いて、ほる日をとでも楽しみにしていました。特に天候不順や病気などもなく、・さんや・先生が協力してくださったおかげで、本当に立派で長いじねんじよがたくさんできました。ぼくは、じねんじよを折らないように気を付けて運びました。たくさんさんの愛情がたまっているの、おいしく調理して全校のみんなに食べてもらいたいと思いました。常南の伝統であるじねんじよ栽培を、これからもずっと受けついでいってほしいです。

とろろご飯の会

おいしいとろろごはん

一年

とろろごはんは、とてもおいしかったです。きよねんは、じねんじよのはがびょう気にかかってしまったと、

楽しいとろろごはんの会

二年

ぼくは、とろろごはんの会です。とろろごはんを食べました。じねんじよや米について、五・六年生がはじめにせつ明してくれました。「あいちのかおり」というきゆう食のお米が食べられてよかったです。とろろごはんは、にがてだったけれど、今年、食べてみて大すきになりました。これからも、楽しくとろろごはんを食べたいです。



【とろろ作りをする6年生】

とろろご飯の会に向けて

五年

とろろご飯の会までに、じねんじよの植え付けや田植え、稲刈り、じねんじよほりなどたくさんさんのことをしてきました。

とろろご飯の会では、五年生が学校田でとれた米を使って準備をしました。家庭科の授業で米のたき方を勉強しました。だから、グループの子と協力して、米を洗ったり、たく前に米を三十分間給水させたりしました。来年は、わたしたちがじねんじよを育てることができるようがんばりたいです。

わたしたちのとろろ作り

六年

じねんじよ栽培ととろろ作りは、毎年六年生が行っています。今年も豊作でも立派なじねんじよがたくさん収穫できたため、とろろ作りも気合いを入れて取り組みました。とろろ作りは、友達と協力をしたのできません。私が一番大変だと思ったのは、すったじねんじよを出す汁のばしていく作業です。すったばかりのじねんじよは、固くて、ものすごく力を入れたけれど、出汁を加えながら混ぜると、ふわふわしてきましたので混ぜるのも楽しくなりました。完成したとろろはとてもおいしくできました。常南の伝統行事が、これからも続いていくとうれしいです。

ときなんっ子 いじめを考える人権集会【四・五・六年】

「ときなんっ子 いじめを考える人権集会」を行いました。今回のテーマは、「ネットいじめです。ビデオ視聴の後、いじめに気付いたとき、自分がいじめられたとき、自分だったらどうするかを真剣に考え、意見交換を行いました。保護者の皆様からいただいた「愛のメッセージ」は、・・さんに読み上げていただきました。有意義な時間となりました。

ネットいじめを学んだ人権集会

四年

最初にネットの通信機器を持っている人の割合を見て、四年生以上の半分以上が持っているのと知り、とてもおどろきました。次に、ネットいじめの動画で女の子がいじめられていて、とても心がいたそうでした。ネットでぼう言をはくと続いてしまうので、ぼくや友だちがネットいじめにあっていたら、広がる前に親や先生など信頼できる人に話して、いじめをやめさせた方がいいと心から思いました。

ネットいじめのこわさ

四年

わたしは、いじめを考える人権集会でネットいじめのこわさを知りました。ネットいじめは、ネットだから情報が広まりやすいので、家族の悪口を言われていたら悲しいし、とても言い出しにくいです。それでも人が傷つく言葉を書きこむ人がいるので、わたしは、自分が悪口を書きこまれたり、悪口を書きこまれてる人がいたりしたら、すぐに先生や親に相談できるようにしたいです。

いじめについて学んだ人権集会

五年

わたしは、これまで友達に、「しまった」「やばいな」「言い過ぎちゃったかな」と、思うことがたくさんありました。でも、こわくて謝れないでいました。

わたしは、今回の人権集会で、友達に素直に「ごめんね」と謝れるようになりたいと思いました。また、相手はわざとでなければ、おこるのではなく、ゆるしてあげること大切だと思えました。友達を大切にこれからも生活していきたいです。



【積極的に挙手をする子どもたち】

よく考えた人権集会

五年

ぼくは、いじめを考える人権集会で、相手の気持ちを考えることの大切さを学びました。相手の気持ちを考えないから、いじめにつながってしまうと思います。いじめられると、心も体も傷ついてしまいます。だから、これからも周りの友達を大切に、仲良くしていきたいです。そして、もしもいじめがあったときは、先生や家族に相談するなど自分にできることを行い、いじめをなくしていきたいです。

人権集会をふり返って

六年

ぼくは、普段の生活の中で、今のはきつかったかなと思う言葉や自分が言われたらいやだということを友達に言ってしまうことがあります。人権集会では、ちょっとしたこと

いじめが始まり、それが大きく広がってしまふという事例がありました。ぼくは、いつ自分が原因でいじめを引き起こしてもおかしくないと思ってもこわくなりました。これから発言する前に、この言葉を伝えていいのかをしっかりと考えて発言していきたいです。



【司会進行を務める TOKINAN リーダー】

わたしにできること

六年

わたしが人権集会で学んだことは二つあります。一つ目はいじめを見たら、すぐ大人に伝えるということです。いじめられている人が何もしないと、いじめがどんどん大きくなってしまいます。ささいなことでも大人に伝えることが大切だと思います。二つ目は、いじめを見つけた人がどう行動したらよいかということです。ただ見ているだけというのは、いじめをしている人と変わらないということです。わたしができることは何かを考え、いじめが少しでもなくなっていくといいなと思えました。



【自分の考えを発表する4年生】

マラソン大会

力いっぱいはしったよ

一年

小学校はじめてのマラソン大会。さすががきつかったけれど、さいごまではしれました。どんどんぬかして、たのしかったです。おかあさんたちが見ていて、きんちようしました。おかあさんたちがおうえんしてくれました。うれしかったです。

力いっぱいがんばったマラソン大会

二年

マラソン大会は、し走より本番の方が、じゅん位が上がってうれしかったです。走っていると、つかれたり、ころびそうになったりしたけれど、さい最後まで走れてよかったです。わたしは、走るののがが手で、さい後の方だと思っていたけれど、じゅん位が上がったので、うれしかったです。つかれたけれど、めちやくちマラソン大会が楽しかったです。

ラストスパート

三年

わたしは、寒さときんちようでも体もぶるぶるしていました。準備はしたけど、目標が達成できるか不安でいっぱいでした。校長先生の「位置について」に続き、ピストルの音が鳴りました。わたしは、運動場を走っただけで、つかれてしまいました。特に、上り坂が苦しかったです。でも、

お姉さんとお父さんが応援してくれたので、最後にライバルを抜かすことができました。来年も目標に向かってがんばって走りたいです。

遅くてもがんばった

四年

わたしは、とても歩きたい気持ちでした。自分の体力がないことはわかっているけれど、それでもかけ足週間で七周走れるようになりました。本番、スタートするみんなはスピードが速くて、最後の坂のところでは、もう限界でした。ラスト運動場一周は、もう無理だと思っただけで、がんばって走ろうと思いました。三十四位だったけれど、最後のおしるこはとてもおいしく感じました。がんばって良かったなと思いました。五年生もがんばりたいです。

五年

スタート地点に行き、ピストルの合図が鳴るまでの待ち時間、ぼくの心ぞうは、いちばんどきどきしていました。パンとスタートの合図が鳴り、全力で走り出しました。門を出て、学校坂を下っていると、ようやく心ぞうが落ち着きました。走り終わった後、タイムがとても気になりました。完走賞に五分三八秒と書いてあり、新記録だと分かりました。十月中旬から休みの日は家で走ってきたので、その成果が出せてよかったです。来年のマラソン大会も一位だけでなく、新記録樹立もめざしたいです。

悔しかったマラソン大会

六年

今年小学校生活最後のマラソン大会でした。ぼくは二年生のころからずっと一位だったので、今年も一位になりたいという思いがありました。しかし、みんな練習を積んでいて力をつけているので少し不安でした。その中の試走は六位。とてもショックでした。いよいよ迎えた本番は、いつも競り合う仲間との争いになりました。校内にもどって来た時は先頭と少し差があったけれど、差をつけて最後の争いができたのは楽しかったです。一位は取れなかったけれど悔いなく走れました。中学校ではリベンジできるようにがんばります。



【1年生 初めてのマラソン大会】

一位をめざして

◆マラソン大会結果◆

男子の部

女子の部

※◎は、新記録

常磐南学区ふれあいボウリング大会

十二月四日(日)に常磐南学区福祉委員会主催のふれあいボウリング大会が行われました。始球式の投球は、最年長の・・・さんが務めました。総勢108名の常磐南学区のみなさんが、地区、消防、親子のチームに分かれて、ボウリングを楽しみました。

【個人の部】

【女性賞】

【子供賞】

【団体の部】



【開会式の挨拶をする福祉委員長・・・さん】

映写機能付きホワイトボード寄贈

名古屋銀行様から、映写機能付きホワイトボードを寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



【表彰式】



【ボウリングを楽しむ学区のみなさん】

おめでとう

◆市作文コンクール

◆交通安全ポスターコンクール

◆社会を明るくする運動作文コンテスト

常南の心

優しい心

五年担任 ……



四月、常磐南小学校の門をくぐった日、目に入ってきたのは、「やさしさ一〇〇点！」と書かれた横断幕だった。そして、初めて五年生の教室に向かうと、廊下には「ちがいでではなく大切な個性」と、かかれた野菜のポスターが掲示してあった。この二つの言葉は私の心の中にとっても響いた。私は小学生の頃、リコーダーを演奏することがとても嫌いだった。理由は、左人差し指の爪の形が変わっているからだ。当時の私は、この爪をとってもコンプレックスに思っていた。友達に見られたら、何か言われるんじゃないかと不安だった。しかし、ありがたいことに、周りの子からは一度も嫌なことを言われたことがない。大人になった今、私はこれまで関わってきた全ての人からとても優しくされてきたんだと感じている。だから、私は「人に優しく」を大切にしている。私がコンプレックスからたくさんのことを学ぶことができたのも、この爪のことを一つの個性として認めてくれた周囲の人のおかげだと思う。感謝の気持ちでいっぱいである。今年度も残り三か月となった。子どもたちが毎日見ている「やさしさ一〇〇点」の横断幕。優しい心を育てた子どもたちが、常磐南小学校を巣立っていく姿がとても楽しみである。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
	読書週間開始	児童集会 クラブ		社会見学(とこは) 第二回「ナナメの教室」				月曜集会 委員会		市書き初め展	読み聞かせ	6年租税教室	避難訓練週間	代休		授業参観 全校レク逃走中 校内書き初め展	読み聞かせ		給食開始		始業式 書き初め会	成人の日	予備日	PTA資源回収		仕事始め		振替休日	元旦	



●赤い羽根の共同募金 合計8, 232円 ご協力ありがとうございました。